

デイサービスのパート職員からグループホームの正職員へ

相手を楽しませるには！！先ず自分が楽しまなくっちゃ！



自宅の向かいがグループホームひなた、いつかここで働きたい

自宅の向かいがグループホームひなたで、よく外で利用者様と職員の方が楽しそうにボール遊びなどを行っているのを見掛け、利用者様も職員も笑顔あふれ「私もいつかここで働きたいなあ」と思っていました。家族の介護を経験し、もっと知識があれば…と思う事が多くヘルパー2級を取得し、職業として資格を生かせればと思い介護職を選びました。新秋会は介護職としては、2社目の転職ですが、初めて介護で勤めたところは、“資格は紙切れ、実力勝負、業務優先”という考えの所で…。おかげで技術は学ばせて頂きましたが利用者様の気持ちを汲み取る介護を目指したい私には合わないと感じ、この仕事は私には合わないのかなあと感じていた時ちょうどハローワークで新秋会のデイサービスの求人を見つけて採用して頂きました。

私は「お母さん」「毎日いる人」

デイサービスのパートからグループホームの正社員にして頂きましたが、デイサービスの最終日、泣いて応援してくれた利用者様達が事務所へ用事がある時たまに行くときから「伊藤先生～！！」と呼んで下さり手を取り合って再会を喜んでくれた時。名前を覚えてくれていた事はもちろん私もうれしかったです。今居るグループホームは認知症になっている方のみ入居されていますので名前は覚えられないにしろ“お母さん”と呼ばれたり、休日の続いた後の出勤時「なんで昨日居ねかった？さみしかったよ」と言って頂き“毎日居る人”と認識して頂いている事がうれしいです。

認知症のデイサービスの送迎から入居者の生活援助まで

グループホームですが認知症に特化したデイサービスの受入れもしており、デイの送迎、入居者様の生活援助、ご家族の対応、家事、事務、担当の役割仕事など幅広く働かせて頂いています。

私がいてよかった！！…もっともっと…心配りのできる私に

上司や仲間にも恵まれ、利用者様と過ごす時間は楽しくもあり、日々勉強です。認知症は一人一人症状が異なり教科書通りではなく、落ち着きがないなど一見不可解な行動にも必ずその方なりの理由や原因があります。認知症の方は困っている事を伝える手段が少しだけ分かりづらいのだと思います。その分こちらの気持ちや表情などは敏感に伝わるように感じます。残存能力を生かして出来る事を大切にしつつ、“かゆい所に手が届く”といいますが、心配りの出来るように頑張りたいです。一日一日を大切に、”この人と出会えて良かった” “この人が居てくれて良かった”と思って頂けるような介護士になりたいです。

介護は「究極のサービス業」です

介護職は究極のサービス業だと思っています。ただ相手には見返りを求めません。自分の心の成長です。介護職にも施設によって異なるので自分の向き不向きがあると思います。私は元気を取り柄で「利用者様を笑顔にしたい」がモットーなので比較的元気な方を相手にするデイサービスやグループホームに就けて良かったと思っています。相手を楽しませるには先ず自分も楽しくなきゃと思っています。



伊藤 奈緒子 2017年3月入職
新秋会 グループホームひなた
介護職員